

安位寺殿御自記 九卷

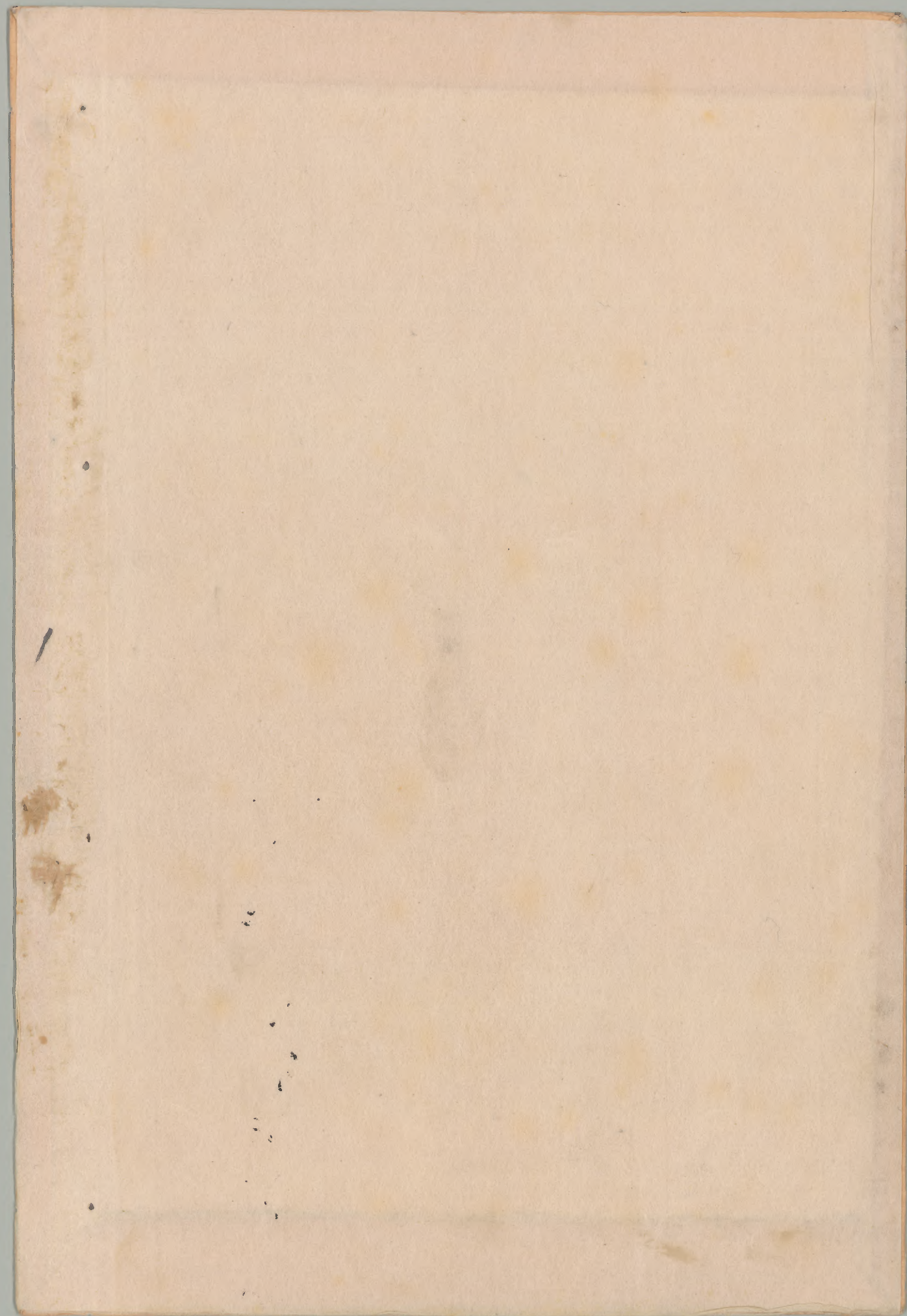
大

古文書

一九函共八三
三五九號

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 (9)
函號	古 19 359





應永文 同字子七子八子九子卅五
正長二 平字之 平字子 文之子

社名之先并竹取記

傳



寛永七五年

一番

三橋庄

自四月廿三日迄廿七日迄一日

二番

神保庄

自四月廿八日迄廿九日迄一日

三番

甲八町庄

自六月廿一日迄廿二日迄一日

四番

坂森新庄

自六月廿三日迄廿四日迄一日

五番

秋田庄

自六月廿五日迄廿六日迄一日

六番

栗田

自六月廿七日迄廿八日迄一日

申二通

一番

三橋庄

自六月廿九日迄七月一日迄一日

二番

秋田庄

自七月二日迄三日迄一日

三番

栗田

自七月四日迄五日迄一日

同廿六年

一番

神保庄

自五月十一日迄十二日迄一日

二番

坂森新庄

自五月十三日迄十四日迄一日

三番

同廿六年

秋田庄

自五月十五日迄十六日迄一日

二、

三橋店

自四月廿二日

三、

北原店

自四月廿五日

四、

甲子所

自四月廿三日

五、

飯田村

自四月廿一日

六、

赤坂

自四月廿日

第二通

一、

赤坂

自四月廿日

二、

甲子所

自四月廿七日

自四月廿二日 甲子所 但方川 初定井也

三、

六月廿一日

河原庄の概下

四、

赤坂

自四月廿一日

五、

飯田村

自四月廿一日

六、

赤坂

自四月廿一日

七、

飯田村

自四月廿一日

八、

赤坂

自四月廿一日

九、

飯田村

自四月廿一日

三橋店より中野勢初及待又河内音月
引云云也字作色陰初と廿四行打一
初冬
初殿治用中平の所店五條下又押
取事一交代末より信務と改修二反月
待又
神取次中平の所の概信と別書
為り降り初初及待下又押と概
吾信及あり二反月待と改修

幸野の成道院

高永廿数年 青月十日次所

一番 秋田有庄 行音日 主十日やケ

二番 三橋店 皇月二日と切サの日

三番 及田勢太 二日廿日と切三日

四番 東南 月三日七日と切三日

五番 中野 月三日廿日と切三日

六番 初二反 月三日廿日と切三日

七番 初二反 月七日と切三日

存教大書院
同廿三年一月一日

四 甲午 六月廿一日 申時 申時

申時 申時 申時 申時

一 申時 申時 申時 申時

二 申時 申時 申時 申時

三 申時 申時 申時 申時

四 申時 申時 申時 申時

一 隆興二年五月廿一日

宋孝五年 四月廿一日 隆興二年五月廿一日

初及下 隆興二年五月廿一日

軍待寺家 隆興二年五月廿一日

八月廿一日 隆興二年五月廿一日

三 隆興二年五月廿一日

隆興二年五月廿一日

隆興二年五月廿一日

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

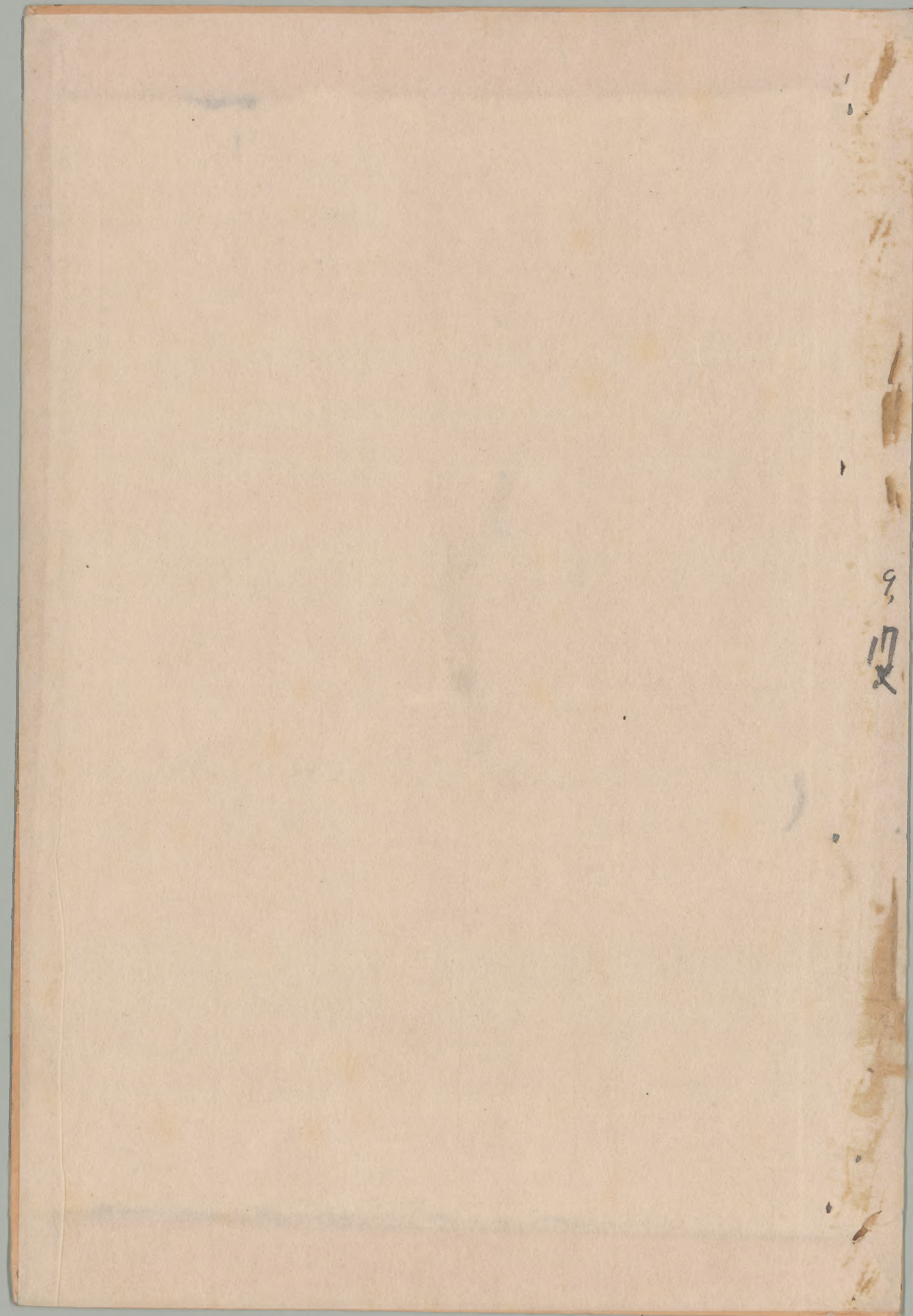
神友

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、



9,
15





9
四

